

人工林の公益的機能回復に取り組んだ事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：世羅町

取組のきっかけ・経緯

・町内に森林を所有されている方からの要望や、町広報誌による施業箇所の募集を行い、人工林について整備を実施することとした。

今後の展開

・近年の集中豪雨の状況に鑑み、今後も、長年手入れのされていない人工林の整備を進め、森林の持つ公益的機能の発揮を目指す。

取組の内容

- ・事業主体：世羅郡森林組合
- ・実施場所：町内25箇所
- ・業務量：18.61ha
- ・業務金額：7,347,100円
- ・業務期間：令和2年7月20日～
令和3年3月19日

【整備前】



取組後の感想

【良かった点】

・町広報誌へ施業箇所の募集を掲載したことにより、事業要望だけではなく、自らが所有する山林について関心を持たれた方からの問い合わせが多くあった。

【整備後】



荒れた里山の景観保全に取り組んだ事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：世羅町

取組のきっかけ・経緯

・マツ枯れ被害が多く、尚且つ事業効果を多くの町民に感じてもらえるよう、世羅町を横断する主要道路である「ふれあいロード」沿いの里山林について整備を行うこととした。

今後の展開

・町内では依然としてマツ枯れ被害が多いため、特に見通しの悪い箇所を選定しながら健全な里山林へと誘導していく。

取組の内容

・事業主体：世羅町

①

・実施場所：世羅町大字別迫地区

・業務委託先：(株)ケイプラン

・業務量：5.61ha

・業務金額：7,404,100円

・業務期間：令和2年11月7日～

令和3年3月19日

②

・実施場所：世羅町大字黒淵地区

・業務委託先：世羅郡森林組合

・業務量：1.28ha

・業務金額：1,824,900円

・業務期間：令和3年1月23日～3月26日



取組後の感想

【良かった点】

・今年度は2地区で里山林整備事業を実施することができた。

・②の事業地は、昨年度実施箇所の続きとなっているため、一体的な整備を行うことができ、事業効果を高めることができた。

【悪かった点】

・冬期での発注となったため、降雪の影響により、余裕のある事業執行ができなかった。



歴史的文化財と森林が織りなす景観の保全事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：世羅町

取組のきっかけ・経緯

・事業実施地区は歴史的文化財が多く存在する森林であり、林内には、「いこいの森」や「遊歩道」「展望台」などが整備され、多くの人々が訪れる場所となっている。しかし近年では、小径木が密生し、林内が薄暗くなっている。そこで、甲山史跡・名所伝承保全会が計画を作成し、景観の保全に努め、より多くの人々が自然に親しめる環境を整えるため、本事業に取り組むこととした。

取組の内容

- ・事業主体：甲山史跡・名所伝承保全会
- ・実施場所：世羅町大字甲山地区
- ・業務量：16ha
- ・業務金額：9,000,000円
- ・業務期間：平成30年度～令和3年度

【整備後の様子】



今後の展開

- ・引き続き、保全会が中心となり、保全活動や森林体験活動を実施していく。
- ・利用者の利便性向上のため、遊歩道沿いに木製ベンチの設置を検討している。

取組後の感想

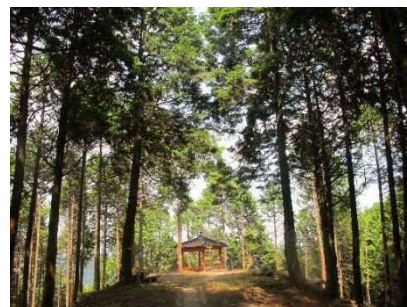
【良かった点】

- ・林内に設置されている休憩小屋周辺の森林整備を実施したことにより、林内に日が差し込み、山へ入りやすい環境を整えることができた。
- ・遊歩道を整備したため、案内看板を作成・設置し、事業のPRを行うことができた。

【悪かった点】

- ・利用者が休憩しながら林内を回れるよう、遊歩道沿いにベンチを設置すればよかった。

【整備後の様子】



希少植物が自生する山林の保全事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：世羅町

取組のきっかけ・経緯

・事業実施地は町花であるスズランが自生する森林であり、林内には、登山道が整備され、多くの人を訪れる場所となっている。しかし近年では、倒木の発生や登山道の洗堀などが見受けられる。そこで、君影会が計画を作成し、希少植物の保護に努め、保護活動を通じた地域づくりの活動と情報の発信を図るため、本事業に取り組むこととした。

取組の内容

- ・事業主体：君影会
- ・実施場所：世羅町大字青近地区
- ・業務量：6ha
- ・業務金額：9,000,770円
- ・業務期間：令和2年度～令和3年度

【整備後】



今後の展開

- ・引き続き、君影会が中心となり、保全活動や森林体験活動を実施していく。
- ・東口側からの登山道整備も行い、男鹿山全体の自然散策ができるよう整備を進めていく。

取組後の感想

【良かった点】

・登山道が滑りやすい土質だったため、登山道北口から頂上にかけて、木製階段を設置したことにより、利用者の安全性を確保することができた。

【悪かった点】

・頂上付近の展望整備を行ったため、展望看板などを更新し、事業地のことについてより理解を深めれる環境を整備すればよかった。

【整備後（木製階段）】



歴史的建造物を取り囲む社叢の保全 事業名：特認事業（地域資源保全活用事業） 市町名：世羅町

取組のきっかけ・経緯

・事業実施地区は町史跡に指定される茶臼城跡地周辺の森林であり、林内には、鎌倉時代からの歴史的建造物が多数存在する。しかし近年では、竹林が繁茂し、林内が日中でも薄暗い状態となっている。そこで、茶臼山保全会が計画を作成し、地域のシンボリック存在の茶臼山を整備し、地域の活性化を図るため、本事業に取り組むこととした。

取組の内容

- ・事業主体：茶臼山保全会
- ・実施場所：世羅町大字下津田地区
- ・業務量：6ha
- ・業務金額：6,000,000円
- ・業務期間：令和2年度～3年度

【整備前】



今後の展開

- ・引き続き、保全会が中心となり、保全活動や森林体験活動を実施していく。
- ・事業区域内に残っている竹林の整備と併せ、遊歩道の整備も進めていく。

取組後の感想

【良かった点】

- ・侵入竹の除去を重点的に行ったため、景観の保全と、山へ入りやすい環境を整えることができた。

【悪かった点】

- ・事業実施看板の設置や、PR活動を積極的に行うことができなかった。

【整備後】

